知る、つながる、好きになる　ながおか市民活動情報誌

らこって

Racotte vol.43

2016 7 FREE

発行●ながおか市民協働センター

市民のチカラ
山古志地域特集
YAMAKOSHI

【登場団体】特定非営利活動法人 中越防災フロンティア／山古志住民会議／総合型クラブ Y-GETS／山古志闘牛会／山古志地域むすび隊
与板地域むすび隊／NPO法人クオリード／他

長岡フレッシュ団体PickUp！

第146回　えのもと×つくる

イベントでフェアトレードの輪を広げる

第148回　長岡オフサイトミーティング

仕事の枠を超えて、長岡をよりよい街に

第147回　パパサロン

子育てパパが語り合う場を！

魅力的な若手を「つながるラジオ」で紹介中！

長岡市の市民活動応援番組。FMながおか山田光枝と、NPO法人市民協働ネットワーク長岡のスタッフが、若手市民団体やサークルなどを体験取材に向かいます！

■放送局：80.7MHz FMながおか
■放送日：毎週月曜日
17時頃～（10分間）※第5月曜を除く
■過去の放送：市民協働センターウェブサイト「コライト」で配信中！

コライト　検索

むすび隊 Kirari★地域の魅力みーつけた！

長岡市民リポーター むすび隊

夏間近！BBQビール園、開園

与板地域むすび隊
田中 洋介さん

サッポロビールの生みの親・中川清兵衛が与板地域の出身であることをご存知ですか？同社からは、それにちなんだ新潟県限定商品も発売されていますよね。そのような背景から、与板では毎年、「中川清兵衛ビールフェスタ」で盛り上がっています。さらにこの夏、新たにたちばな公園に、「与板★中川清兵衛記念BBQビール園」が開設されます。公園沿いにはリニューアルした兼続お船ミュージアムも。この夏はビールと一緒に与板の歴史も味わってみてはいかがでしょうか？

むすび隊とは？…長岡各地の出来事や地域の宝を市民目線で探して、発信していくメンバーたちです。市民協働センターウェブサイト「コライト」にて地域コラムを連載中！

新設 NPO法人紹介

NPO法人クオリード

重度の精神障害を抱えている方が、入院せずとも地域で暮らしていけるように、長岡で初の女性限定24時間グループホームを開設。スタッフ共々、笑顔での対話を心がけ、地域の中で安心して共同生活が送れるよう、支援を行っています。散歩や買い物に出かける等、利用者の方が、日に日にイキイキとされる姿を見て嬉しく感じています。

市民協働センターからのお知らせ

info

広報活動、お助けします！

どんな市民活動でも共通して聞かれるのが、広報活動に関するお悩み。協働センターでは、皆さんの広報活動をさまざまな手段でお助けしています。その一つがWEBサイト「コライト」やFacebookページでの活動告知。ネット上に情報を乗せて広範に拡散いたします。イベント告知や活動紹介など、お持ちの情報をぜひご提供ください。

情報メンバー募集中！

ながおか市民協働センターが毎月発行する情報誌「らこって」を始め、長岡の市民活動団体からのお知らせや支援情報などを毎月1回お届けします。ご希望の方は市民協働センターまでお気軽にお問い合わせください。

【らこって配布場所】長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

らこって　2016.7.1〈vol.43〉　FREE

【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10
シティホールプラザ アオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020　Fax.0258-39-2900
Mail. kyodo-c@ao-re.jp　URL. http://nkyod.org

掲載団体について知りたい方はお問い合わせください。

山古志

YAMAKOSHI

急峻な山の斜面一帯に、棚田や棚池が幾重にも連なる山古志。平成16年に発生した新潟県中越地震で全村避難を強いられるほどの被害を受けました。避難指示が解除されると、豪雪地で築いてきた忍耐力と助け合いの精神、たくましい人間力を発揮し、復興を進めてきました。この経験で培った地域内外とのつながりを活かし、古くからの暮らしが息づく景色を守りつつ、住みよい地域づくりに取り組んでいます。

面　積：39.83km²
人　口：1,067人
世帯数：432世帯
（平成28年6月1日現在）

山古志を支える三本柱!

特定非営利活動法人 中越防災フロンティア

平成18年発足。コミュニティバスの運営、やまこし復興交流館おらたるの運営、被災地の視察受け入れ、越後雪かき道場などを中心に、「復興からの地域づくり」に挑戦しています。

山古志住民会議

平成19年発足。よりよい山古志を目指すため、集落や団体の立場を超えて議論する場。やまこし夢プランの作成を軸に地域内での合意形成や連携を生み出しています。

総合型クラブ Y-GETS

平成25年発足。スポーツを通じた多世代交流や地域活性化の他、放課後児童の居場所「やまっ子クラブ」、子育ての駅「やまっこ」の運営を担っています。地域の健康づくり、仲間づくり、居場所づくりに取り組みます。

住民の力で走らせるクローバーバス

中越防災フロンティア

震災後の路線バスの廃止を受け、「生活の“足”を守るため」に山古志地域と太田地区で運行を開始したコミュニティバス。学生の通学や、高齢者の通院の足として、地域住民の8割以上が会費を負担し、支えあいながら運行しています。この春からは、会員だけでなく、地域外の誰でも自由に利用できるようになり、観光や交流でも新しい役割を期待されています。

オール山古志の「議論の場」を!

山古志住民会議

震災後、「山古志全体のことを話し合う場が欲しい」と発足した議論の場は、住民が立場を超えて集います。地域の将来像を共有し、誰がどう実行するかを検討。この場から「やまこし汁」や「山古志弁当」などがカタチになるなど、多くの連携が生まれました。また、行政と手を取り合い運営する「山古志地域追悼式」を始め住民会議が担い手となる事業も多数。今後は、復興から「交流」を新たなテーマに議論を深めていきます。

地域の声

この地で1,000年も前から行われてきたと言われる「牛の角突き」。開催する闘牛会は現在45人で、地域外のメンバーも多く、職業も様々。さらに30代から最年長85歳の多世代メンバーが、それぞれの持ち味を活かし伝統を守るとともに、新しい取り組みにもチャレンジしています。私たちの活動が山古志に足を運んでもらうきっかけの一つになってほしいと思っています。

山古志闘牛会　松井 富栄さん

来場者へ案内を行う中越防災フロンティア

山古志住民会議によるフォトツアー

復興と交流の拠点「やまこし復興交流館 おらたる」

中越防災フロンティア×山古志住民会議

平成25年にオープンした「おらたる」は交流スペース、展示スペースなどの施設運営や案内を中越防災フロンティアが担当。現在は新たに児童向けの防災学習プログラムを企画しています。また、交流プログラムの検討は山古志住民会議が担当。各集落や団体と連携し、ツアーや地域資源の活用など魅力づくりを行っています。山古志の観光や地域間連携の窓口として地域からの期待が集まる重要な拠点です。

地域の宝

棚田・棚池

勝負ごととなると熱が入る村レク

夏まつりは、みんなで輪になって盆踊り

集落を超えて住民の集まる!「村レク」「やまこし夏まつり」

中越防災フロンティア×Y-GETS

集落ごとの行事が多い中、「夏まつり」と総合レクリエーション大会こと「村レク」は全域から人が集まる数少ない大行事。「夏まつり」は、仮設住宅に避難していた際に、合同で開催した盆踊りが始まり。「各集落が集まるのは盛大で良かった」という声を中越防災フロンティアが平成25年に形にしました。「村レク」は公民館対抗で行われていた運動会で、一度は途絶えていたものをY-GETSが復活させました。現在は2つのイベントを同日に開催。相乗効果で地域住民が集まる場を盛り上げています。

楽しく夜の山古志を歩こう「ナイトウォーク」

総合型クラブ Y-GETS

かつて、家族や仲間と夜通し歩く恒例の行事があったと耳に挟んだY-GETSメンバー。「まずは2～3時間でやってみよう」と、平成23年から「ナイトウォーク」を開始。昨年は、親子をはじめ、孫を連れたおばあちゃんや、東洋大学生など40人以上の多世代が参加。歩きごたえのある夜道をワイワイ楽しんでいます。「ゆくゆくはオールナイトにチャレンジ!」と企画を練っています。

長岡市観光リポーター
むすび隊

日本の文化『錦鯉』

山古志の錦鯉文化は現在も大切な地域産業として、若い世代へ脈々と受け継がれています。平成26年には長岡市と小千谷市の「市の魚」に制定。錦鯉を日本の文化として発信しようと、普及活動が盛んになされています。優美な姿を気軽に鑑賞できるようにと、アオーレ長岡などに水槽が設置されたり、ジャパンブランドとして海外へPRしたり。生産者は誇りと情熱を胸に、美しい錦鯉を育てています。

山古志地域むすび隊
川上 沙織さん